

独立行政法人 地域医療機能推進機構 清水さくら病院



外観

JR東海「清水駅」東口に、移転新築された「JCHO清水さくら病院」。駅からペDESTリアンデッキで直結しており、抜群のアクセスのよさを誇る。



2F 総合受付

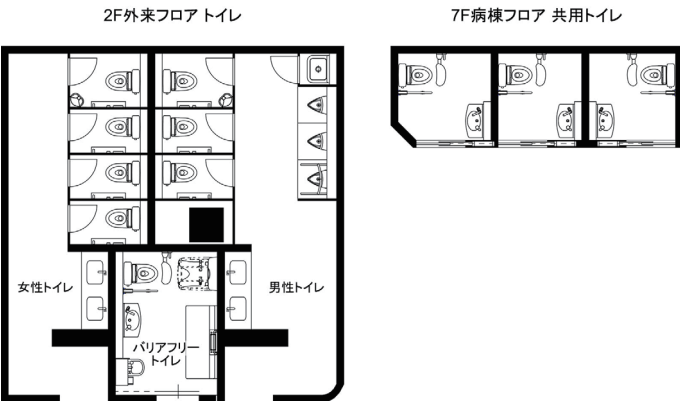
海に近いことから津波対策として1Fを駐車スペースとし、2Fから上層階が病院フロアになっている。総合受付は、病院名の「さくら」にちなんだ淡いピンク色の壁面で仕上げられ、空間全体に柔らかな印象を与えている。



2F外来フロア
バリアフリースイレ

外来フロアのバリアフリースイレには、さまざまな利用者を想定し、車いす使用者のほか、オストメイト対応汚物流しやベビーシート、収納式多目的シートなどさまざまな身体状況に対応できる設備を完備している。

トイレ図面



水まわりの特長

建物の特徴

「JCHO桜ヶ丘病院」は、築60年を超え老朽化が進み、耐震性も不十分なことから、JR清水駅東口に移転。「JCHO清水さくら病院」として開院した。新病院は、駅からはペDESTリアンデッキで直結、徒歩3分の好立地に位置する。病床数は159床、健康管理センターも併設され、地域医療を支える中核病院である。また、駿河湾に面する場所に立地するため、津波発生時には避難タワーとしても機能する、災害に強い建物として設計。自家発電装置、緊急時医療用ガス供給スペースを確保、さらに、津波対策として診察業務は2F以上、病棟フロアは5F以上に配置。浸水時にも、ヘリコプターにより医薬品や支援物資が搬入できるホバリングスペースが屋上に設けているなど、災害時でも、地域の医療インフラを支える。

水まわりの特長

落ち着いたスタイリッシュな印象の内装で整えられた外来トイレは、男女別トイレとバリアフリースイレを、各フロア内に2ヶ所ずつ設置。病棟フロアは、病室外の通路に面した場所に、個室タイプの共用トイレを適宜複数設置。特別個室は、トイレや洗面、バスルームが独立した上質な空間としている。バリアフリースイレの設備としては、外来フロア、病棟フロアともに、立ち座りや座位保持するための前方ボード（スイングタイプ）を設置。便器乗移時の動作・姿勢の安定を図り、転倒リスクや介助者の負担を軽減する。また、スタッフへの手指衛生配慮として、スタッフステーションの出入口の作業動線上に、スタッフ用手洗器を配置。手洗いを自然に行えるよう、衛生性、快適性に配慮した環境が整備されている。

建築概要

名称	独立行政法人 地域医療機能推進機構 清水さくら病院
所在地	静岡県静岡市清水区袖師町2001
施主	独立行政法人 地域医療機能推進機構 清水さくら病院
設計	株式会社 久米設計
施工	建築 清水建設株式会社 設備 菱和設備株式会社
竣工年月	2025年12月
敷地面積	4,900㎡
建築面積	3,450㎡
延床面積	15,342㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造・地上7階

おもなTOTO使用機器

ウォシュレット一体形便器 ネオレストLS:CES9820
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BLC
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリコモコン):TCF5841P
柵付二連紙巻器:YH701／紙巻器(木製手すり柵一体タイプ):YHB63FR
自動洗浄小便器:UFS900R／台付自動水栓:TLE33SM3A
スタッフ用手洗器:LSE850SP／台付自動水栓:TLE33SM3A
電気温水器:REWF03B11RSM、REKB25A22
コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW
前方ボード(スイングタイプ):EWC5740



2F外来フロア 女性トイレ

グレイッシュなマテリアルと木目調のブース材を用いた内装は、落ち着いたスタイリッシュな雰囲気演出。洗面コーナーには、グースネックタイプの自動水栓を設置し、しっかりと手洗ができるように配慮されている。



2F外来フロア 女性トイレ

ローシルエットで空間の圧迫感が少ない、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。すべての大便器ブースにI型手すり設置し、さまざまな身体状況の方に配慮している。



2F外来フロア 男性トイレ

入口近くの小便器1ヶ所を手すり付きとし、さまざまな身体状況の方に配慮。器具は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



7F病棟フロア
スタッフステーション

病棟フロアの中心に位置するスタッフステーションには、スタッフが出入りする場所に、スタッフ用手洗器を設置。スタッフの動線や作業状況にあわせて、手指衛生が自然に行える環境が整備されている。



7F病棟フロア 共用トイレ

病棟フロアの共用トイレには、転倒対策として、立ち座りや座位保持するための前方ボード(スイングタイプ)を設置。トイレによって手すりを左右勝手違いで用意し、身体状況によって選ぶことができる。



7F病棟フロア 特別個室

特別個室の水まわりは、トイレや洗面、バスルームが独立した空間。バスルームの扉は引戸とし、大きな開口を確保できるタイプを採用。大便器は、優美な流線形が特長のウォシュレット一体形便器ネオレストLSを設置。